

動物園 冬物語

♥家族愛で暖かいんだから



クマのぬいぐるみで育った♥

オトメ



ニホンザル

2008年6月、育児放棄された子ザルを飼育員が助けました。「オトメ」と名付けられた子ザルは、お母さんの代わりにぬいぐるみを与えられて、人工哺育されることになりました。

サル山に戻る練習の時もぬいぐるみを抱えるオトメ。他のサルはぬいぐるみを抱えるオトメにちょっかいをだせません。その様子はまるで、お母さんがオトメを守っているようでした。



オトメ(2009年2月当時)

1



梨丸が聞く 飼育員こぼれ話



人工哺育のニホンザルは群れに戻るのが困難とされています。オトメは初めから群れに戻すことを前提に、ぬいぐるみをお母さんがわりに群れへの同居訓練に取り組みました。正直、戻れるか心配でしたが、今ではお母さんとして子育てをするまで成長しました。2013年6月に最初の子、ヤエ(メス)を今年6月には、サクラ(オス)を出産。これから、オトメの家族はまだ増えて、にぎやかになることでしょう。



3

そんなオトメも今では、ぬいぐるみから卒業し2児の母。子育ても手慣れたもので、なかなかのベテランお母さんです。



2

ゴロン(2015年3月深)

2009年5月

最初は、戸惑っていたオトメでしたが、リーダー・ゴロンの助けなどもあり、だんだん、サル山になじめるようになりました。



オランウータン

最初は戸惑いながらも 子育てに奮闘するママ♥

スーミー



▲第1子ウータン(2004年当時)

▼運動具にたたずむイーバン(夫)



▼おてんばな第2子リリー(左)を優しく見守るスーミー(右)

2003年にイーバンとスーミーの間に初めての赤ちゃん、ウータンが誕生しました。しかし、スーミーは「おっぱいを吸わせる」ことを知らないため、ウータンが声を出す度、口を吸ってあげました。抱き方も分からないので、自分の頭にのせていました。そのうち、スーミーは疲れて大の字で寝てしまいましたが、お腹がすいたウータンは、あたりかまわず、吸い付きます。スーミーは困った様子。17時間後、ウータンは何とか、スーミーの胸まで移動しましたが、また頭に戻されてしまいます。そんなことが繰り返され1日半が経過、ついにおっぱいを吸うことができました。スーミーはとても、くすぐったい様子です。こうして、初めての子育てに戸惑い気味のスーミーでしたが、2010年7月にリリーを出産し2児の母。もう子育ては、手慣れたものです。

カレンダーも最後の一枚となり、一層、寒さが身に染みる季節となりました。ここ、大町レクリエーションゾーンにある動物園では、寒空の下、動物たちの家族のドラマが繰り広げられています。そんな動物たちの温かい家族の物語を見に来ませんか。

☎0338-1600 動物園



ミーアキャット

いたずら大好き大家族を支えるパパとママ♥

ポールとローズ



梨丸が聞く
飼育員こぼれ話



ミーアキャットを一言でいうと「警戒心より好奇心」。掃除をしようすると全頭、猛ダッシュで走ってきてホウキに群がります。彼らにしてみれば、真剣にホウキと格闘しているのですが、楽しく遊んでいるようにしか見えません。毎日、観察していて飽きない動物たちです。この面白さを皆さんにぜひお知らせしたいと動植物園公式ツイッターや市公式Webサイトで紹介しています。ひそかにレッサーパンダやコツメカワウソに次ぐ動植物園の主役になれればと思っています。

冬は、家族で寄り添う“ミーア団子”で暖を取ります。一番下にいる子が、つぶされていないか、心配…



お、おもい

3

15頭の大家族ですが、家族全員で子育て。特に長女と長男は面倒見るのが大好き。でも…



4

なまみくちやんすけど

“尋常じゃない雰囲気をかもし出しているけど、実はただの昼寝だった”シリーズがツイッターで大人気のミーアキャット一家。



心臓壊しなだけ

1

昼寝ができるのも、お父さんたちが見張っているおかげ。



飛行機も発見できます

天敵は鳥

ローズ(ママ)

ポール(パパ)

♥これからもミーアキャット家族から目が離せません

動植物園



場 大町284番1外
☎ 338-1960
開園時間: 午前9時30分～午後4時30分(入園は午後4時まで)
休園日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日(月)～平成28年1月2日(土)
入園料: 大人430円、小・中学生100円、小学生未満無料
年間パスポート: 大人1,240円、小・中学生310円
*おむつ換えベッドやベビーカーの貸し出し(50円)もしています。
※有料駐車場あり

交通

- JR本八幡駅北口から京成バス
・動植物園行き(土曜・日曜日、祝日のみ)終点
・市川営業所行き「大野町4丁目」下車で徒歩10分
・大町駅行き「駒形」下車で徒歩10分(大町駅經由市川営業所行きを含む)
- JR市川大野駅からコミュニティバス
・市川大野⇒動植物園
9:07→9:23、11:48→12:04、14:31→14:47
・動植物園⇒市川大野
9:49→10:04、12:31→12:46、15:13→15:28



寒い地域出身のレッサーパンダは、走り回ったり、木登りをしたり。かわいしさが観察できます。元気すぎて飼育員のズボンを破ってしまうことも。また好評発売中のどうぶつガイドブックでも特集しています。



人気のオコバー(お好み焼き串)、おでんなどを食べて暖まりませんか。来園記念・お土産には売店はカフェやレッサーパンダのポストカード、クリアファイル、クッキーなどのオリジナルグッズも充実しています。

冬はボクたちの季節
レッサーパンダ



ミニブタやヤギたちをなでたり、モルモットを膝の上に乗せると、命の温かさを感じることができます。手触りの違いも感じてみてはいかがでしょうか。ブタとヤギにブラッシングもできます。



まるで、南国にいるような気分。大温室ではバナナの実がなり、ストレリチアや洋ランの花などが楽しめます。緑あふれる空間で息抜きしませんか。

命の温もりを感じる
なかよし広場

南国のような暖かさ
観賞植物園

動物園

冬の見どころ情報♥